

計量行政審議会 基本部会 検定有効期間等検討小委員会（令和7年度第1回）
議事要旨

日時：令和7年7月16日（水）13時00分～15時00分

場所：経済産業省別館11階1111会議室

出席者

宮城委員長、大澤委員、奥委員、鍛島委員、加藤委員、唐澤委員、佐藤委員、
佐山委員、田代委員、田原委員、都丸委員、藤野委員、三輪委員、山崎委員

議題

1. 検定有効期間等検討小委員会の開催趣旨及び審議の進め方について
2. 技術的検証作業の進め方について
3. 海外事例調査について

議事概要

1. 検定有効期間等検討小委員会の開催趣旨及び審議の進め方について

本委員会は、本年2月に開催された内閣府規制改革推進会議のワーキンググループにおける御意見等を踏まえ、4月25日に開催した「計量行政審議会基本部会」において設置が議決され、水道メーターの検定に係る有効期間の見直しや水道メーターの検定における検査方法等について審議を行うこと等の説明が事務局より行われた。

2. 技術的検証作業の進め方について

水道メーターを外すと異物等が取れ、状態の確認が不正確なものになる可能性があるため、実態にあった方法による試験が望ましい、水垢等の付着の写真があったが、現在は改良されているから延長を提案しているのか、今回の調査の後も追跡調査を行うことも一案である、羽根車式について、技術上の改良はあったのか、調査協力対象地域が比較的温暖な類似する気候を有しているため、地域差を正確に測れるのか懸念がある等の意見及び質問があった。

3. 海外事例調査について

海外では「どういった機関が」「どのように」「どのタイミングで」「どの範囲で」サンプリング検査を行うのか、「どういった基準を」「誰が作るのか」という観点からの情報や、海外と日本では水道使用量も異なりこれが耐久性にも影響を与えると考えられるため、各国の水道使用量などの情報も収集することが望ましい等の意見があった。

お問合せ先

イノベーション・環境局 計量行政室

E-mail : bz1-metrology-policy@meti.go.jp